

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	東京都世田谷区駒沢 4-3-1
園名	世田谷区立 新町保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

夢中になれる園庭づくり ～やりたいを実現しよう～

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

園庭の一角に、はらっぱをつくり、バッタやカマキリ、カナヘビなど色々な虫を呼び込み、子ども達が自由に虫を捕まえ、観察できる機会を大切にしている。子ども達は自由に土を掘ったり、はらっぱを探索したりしながら虫を探し、自ら捕まえ観察しながら、興味関心を深めている。また、水なども子ども達が自由に使用し、試したい、やってみたいと思った際にすぐにできる環境を大切にしている。

虫に加え、花や野草などの植物も自由に遊べる環境づくりを進めている。

2. 活動スケジュール

◎9月頃

⇒チョウが集まるような植物を調べ、バタフライガーデンを設置する。子ども達が摘めるような花も含めて花屋に相談しながら植レイアウトやデザインを考える。子ども達と一緒に花壇やプランターに花を植える。

◎10月頃

⇒花やハーブ系の植物の香りを嗅いだり、葉や花に触れて大きさ、感触を楽しんだり、自然物を使って自由に遊ぶ。

◎11月頃

⇒植物の成長を感じたり、製作など自由に楽しんだりするコーナーを園庭に設定する。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

プランターと園芸用の土を購入し、園庭と1歳児クラステラスにコスモスや色とりどりの秋の花や、香りがあるハーブ系などを植えてバタフライガーデンを設置した。子ども達が積んでもいいような安価の花も購入した。園庭でじっくり遊べるよう、乳児用、幼児用のテーブルを購入し、併せて自然物で制作を楽しめるよう、制作用のテーブルやワゴンも購入した。

さらに、子どもが植物を自由に使って遊べるよう、なべやフライパン・ままごと用まな板・包丁・すり鉢、すりこぎなども準備した。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

① 乳児クラス（1・2歳）

子どもと植物を観察し、触れたりにおいをかいでみたりしながら遊ぶ。コスモスなどの花やハーブを摘み、砂遊びや、ままごとで自由に遊ぶ。

② 幼児クラス（3・4・5歳）

すり鉢やすりこぎ、包丁やまな板を使って工夫したり試したりしながら自由に遊ぶ。シソ、花びら、茎など色々な素材を自分たちで摘んだり拾ったりしながら自由に使って遊ぶ。

③ 制作テーブルを活用し、植物を使って異年齢でやりたい子が作ったり飾ったりすることを楽しむ

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ① 雨天時でも「今日は雨が降っているね」などの声かけを行い、雨に濡れた植物を見たり、水やりを一緒に行いながら、子どもたちと葉っぱの香りを楽しんだり、実際に触れて葉の感触や大きさ、色などを見比べた。保育士に「ちょうちょがいるよ」「むしさんいるかな」と虫を発見したことを知らせたり、探したりする姿が見られた。また、虫を見つけると友だちを呼び、小さな虫をつぶさないようにそっと指先で触れて大切にしている姿があった。見つけた虫は保育士と一緒に図鑑で探して興味が広がった。



- ② 園庭にテーブルを設定し、すり鉢やすりこぎ棒・ボウルやざる等を用意する。子ども達が自然と集まり、遊びが始まっていく。保育士が近くにあった葉っぱをすくって水に色を付けると子ども達も真似をして、葉をつぶしていた。また使い方については保育士がすべて教えるのではなく、子ども達の姿を見守りながら楽しめるようにした。「違う色の花びらを入れれば色々な色のジュースができるんじゃない?」「ここを抑えながらやるとやりやすいよ。」と思い付いたアイデアを提案したり、経験する中でつかんだコツを友だちに伝えたりしながら遊びが進んでいった。またその様子を見ていた年下の友だちも加わってくると、やり方を教えてあげるなど異年齢での関わりにもつながっていた。様々な用具が増えたことで遊び方や関わり幅が広がっていった。



③

風が強かった翌日の朝、2, 3 歳児が1番はじめに園庭に出ると、花びらがたくさん落ちていることに気づく。丁寧に1枚ずついろいろな花びらを拾った子どもたちと、園庭で製作を楽しめるよう色画用紙とボンドを用意していく。すると、花びらを1枚1枚手に取り感触を楽しみながら、「ピンクいろきれい。」「オレンジもあるよ。」と子どもたちが花びらの色やにおいを嗅ぎながら貼ることに夢中になった。それをみた4, 5 歳児も「やりたい。」と参加してきたので4, 5 歳児は自分たちで花を選べるようにしていく。「菜の花がたくさん咲いているから菜の花にしよう。」という話になり、「ぼくは花をもってくる」「わたしは貼るね」と役割分担をしながら、花や葉の香りや感触を楽しみながら色合いを楽しみながら、自然物を使ったリースやオブジェ制作が発展していった。



5. 振り返り〈振り返りによって得た先生の気づき〉

園庭やテラスに様々な草花があることで、乳児クラスでも、日々の生長を楽しみ、植物の匂い・様々な色・感触があることに気づいた。また、自分から進んで水やりをするなど、遊びを通して五感を働かせ、のびやかな感性が育くまれている。砂だけではなく、ハーブなど自由に混ぜてあそぶことで、においなども感じることで遊びも広がっていくのだと感じた。

～幼児～

また、誰でも自由にあそべるような設定を日々継続していくなかで、自然に異年齢のかかわりが生まれ、子ども同士で道具の使い方・遊び方を真似したり、一緒にやってみたり、手伝ってあげたりする姿が見られた。また、「明日も、やりたい」という声もあり、保育士は子どもの声を聞いて、遊びが継続し、さらに発展していくような働きかけや準備が大切だと気づいた。